



## 冷静な判断と熱い情熱が、 人々の安全を守るチカラになる。

### 安全・安心を支える交通管制。

壁一面に表示される阪神高速道路全域の路線図と、たくさんのモニターや機器が並ぶ光景は、まさに阪神高速の「心臓部」。大阪市内にある交通管制室では、渋滞や事故や落下物など、突発的な事象が発生した際に、状況を迅速に把握し適切な対応を行い、お客さまが安全に高速道路を走行できるよう交通管制を行っています。道路状況を一元管理でき、道路情報の提供や交通管制をスピーディに判断できるところが利点です。交通管制の始まりは昭和42年。交通状況の把握と将来的な交通量の増加、道路ネッ

トワークの拡大を見越した調査研究を行い、大阪万博の前年、昭和44年から運用を開始しました。技術革新についても、現在は車両検知器で計測された交通量等のデータを元に交通管制を行っています。位置情報を利用した新しい交通管制についても検討しています。交通管制室とお客さまの接点は、文字情報板や所要時間表示板などの情報提供が中心です。刻一刻と変わる状況をより正確に、そしてスピーディにお伝えし、安全・安心な阪神高速であり続けたいと考えています。

阪神高速  
知られざる  
スターたち  
〔交通管理業務篇〕



### 神戸の交通管制室で 24時間365日、 安全を見守っています。

神戸市内の管制室で管制業務全般を行っています。お客さまから通報をいただく、落下物や事故などの情報に対し、迅速かつ適切に対処するように指揮しています。たとえば冬季の降雪が多いエリアでは、天候状況をいかに早く掴み、正しい判断を下すことが重要となりますので、24時間体制で連携を大切にし業務にあたっています。日常でも気象状

スピードと  
正確さを第一に  
取り組んで  
います！



阪神高速パトロール(株)  
係長 松下 清孝

況や事故、社会情勢などには常にアンテナを張り巡らせ、不測の事態が発生しても冷静にしっかりと対応できるような心がけています。もし、お客さまが道路の異状を発見された場合は、「#9910」をダイヤル後、ガイダンスに沿って操作していただき通報できるようにしています。今後も阪神高速の安全を守っていくために、スピードと正確さを何よりも大切に取り組んでいきます。



### 大阪エリアを担当。 指令を受け出動し、事故や 落下物などに対処します。

阪神高速を安心して利用いただけるよう巡回業務を行っています。事故が発生すれば現場へ出動して規制を張ったり、救急車やレッカー等を要請します。また、お客さまに安全にご利用いただくため、落下物については迅速な回収を心がけています。なお、いつトラブルが起こっても対処できるように体調管理は特に気を付けています。業務は2人以上で行うので「コミュニケーション

お客さまからの  
“ありがとう”が  
何よりも  
嬉しいです！



阪神高速パトロール(株)  
係長 久保田 輝明

ンを深めて信頼関係を作ることも大切です。スキルアップとしてJAFさんにご協力いただき実施している同乗研修、車両構造研修に参加し、ハイブリッド、電気自動車など最新技術に対応できるように努めています。事故の現場で不安になられているお客さまが、私たちの対応でホッとされたお顔を見ることができた時に、この仕事をやっていてよかったと思います。

夏場の事故や故障等の時には、  
熱中症を防ぐために、  
ペットボトルのお水のサービスも。



### 京都エリアがフィールド。 お客さまへのご案内など、 サポートを行っています。

平成22年に発足した道路サービス班に所属し、新たに開通した阪神高速8号京都線でのさまざまなお客さまへのサポートを担当しています。阪神高速8号京都線は初の無人料金所や対面通行区間など新しい試みがあり、安全を守るための活動にも特に力が入ります。開通から5年ということでもまだ認知度が十分でなく、出

より皆さまに  
愛される  
京都線を  
目指して！



阪神高速パトロール(株)  
係長 太田 忠

口から誤進入するなどして逆走される事案が発生することもあり、その対策として私たちが実際に現場に立つてお客さまへのご案内を行っています。ご年輩の方に正しい案内をすることで感謝いただくことも多々あります。これからもお客さまの安全を第一に考え、与えられた責務を果たしていきたいと思っています。

